

震災から4年半 支えあおう 希望に向かって

NPO法人 仙台敬老奉仕会 第45回 研修会



「カフェ・デ・モンク」移動式の喫茶店  
(被災者の話に耳を傾け、その心に寄り添い続けて…)

「東日本大震災へ生と死の狭間を歩く」

講師・金田 諦應(かねただいたいおう)師

通大寺住職(曹洞宗)

「どうして老いた私が生き残って、孫は死んだの?」  
「生と死の境を決めているのは誰」全身を突き抜く鋭い問い。  
「…それは誰にも分らない。だけど確かな事がある。  
それは今あなたと私は生きている。答えを探しながら一緒に生きていこう。生きている事には必ず意味があるはずだから」  
そういい続けて歩いた被災地。

亡くなった父が大切にしていた花壇から、三年ぶりに花が咲いたのを見てここで父と共に生きていく覚悟を決めた娘。

新盆に流した三つの灯籠が、波間を漂いながら一つの大きな灯火になったのを見て家族との永遠の絆を感じた老人。

震災以降、出会った人々の生と死の狭間を生きる姿を振り返りながら、生きる意味を共に考えたいと思います。

このようなお話を戴きます。またとない傾聴の機会です。



平成27年11月27日(金)

15:00~16:30



仙台市福祉プラザ 第1研修室(11F)

(五橋駅[南1]から徒歩約1分)



無料

主催：NPO法人 仙台敬老奉仕会

事務局：〒980-0801 仙台市青葉区木町通り2丁目5-18 大熊ビル 3F

TEL・FAX 022-725-7284 E-mail: [keirou2009@live.jp](mailto:keirou2009@live.jp)

ホームページ: <http://sendaikeirou.web.fc2.com>